

1. 件 名：株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日 時：令和4年8月30日 11:00～11:35

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

澤村防災専門官、本間専門職、川本専門職

(以下、テレビ会議システムによる出席)

蔦澤専門職、

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

環境安全部 担当課長 他2名

5. 要 旨

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンから原子力事業者防災業務計画の修正として、以下を検討しているとの説明があった(資料1)。

- ・ 防災資機材の見直し
- ・ EAL判断基準の見直し
- ・ 特定事象発生時等の通報様式見直し
- ・ 記載の適正化等

原子力規制庁から、防災資機材のうちパソコンについて、防災業務に必要な資機材であるならば、記載を削除するのではなく、通常業務で使用しているものを充てる旨を明記すること、及びEAL該当の判断に遅れが生じないよう判断のための手順を明確化することを伝えた。

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンから、今回の指摘を反映するとの回答があり、原子力規制庁から法令に基づき手続きを行うよう伝えた。

6. その他

配布資料：

資料1 原子力事業者防災業務計画の修正案について

(株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン)